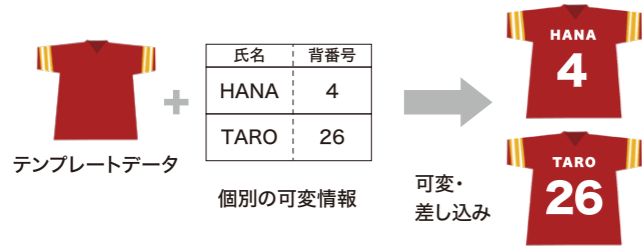


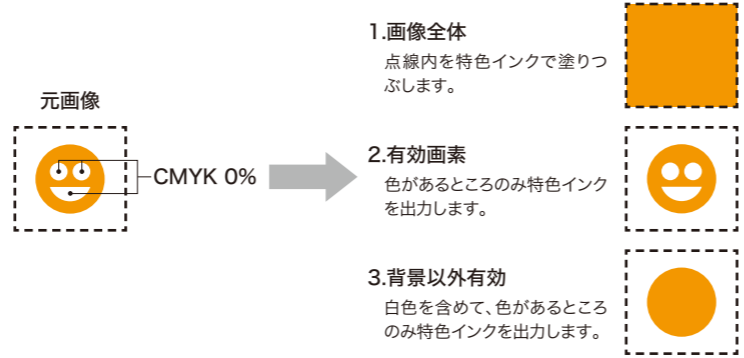
Raster Link 7

使いやすさと高機能を両立
差し込み印刷機能で一品一様の印刷が可能



特色版生成

DTFプリントに向けた、「背景以外有効」設定を新たに搭載。
ベクターデータ、CMYK=0%で作成したオブジェクトを特色版として作成します。
対応画像データ形式はEPS、PS、PDFです。

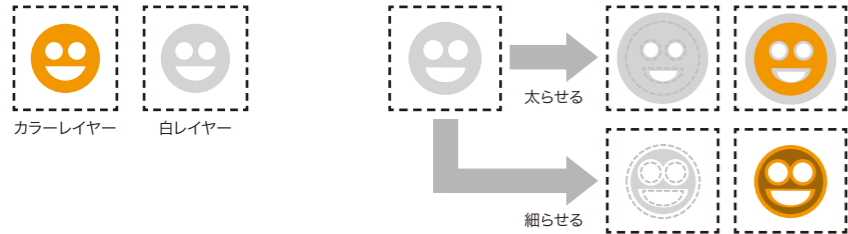


レイヤー調整

カラーとホワイトのレイヤーが完全に重なっていない場合、各レイヤーのサイズと位置を微調整することが可能。

<サイズ補正>

- ・太らせる: 白版を中心から広げる
- ・細らせる: 白版を中心から縮める



<位置補正>

- ・幅: 値を増やすと左方向、減らすと右方向へ移動
- ・送り: 値を増やすと奥へ、減らすと手前へ移動



製品仕様

TxF150-75		
プリントヘッド	オンデマンドピエゾヘッド	
プリント分解能	720dpi, 1,440dpi	
インク	種類/色	熱転写顔料インク PHT50 (C, M, Y, K, W)
	容量	600ml インクパック (ホワイトのみ500ml)
循環機能	ホワイトのみ有り	
最大作図範囲	800mm	
メディア	最大幅	810mm
	厚さ	1.0mm 以下
	ロール重量	45kg 以下
インターフェイス	Ethernet 1000BASE-T, USB2.0 Hi-speed	
電源仕様	本体: 単相AC100~120V / 200~240V±10%, 50/60Hz±1Hz×1	
消費電力	100V系: 0.9kW以下 200V系: 1.2kW以下	
適合規格	VCCIクラスA / FCCクラスA / IEC62368-1準拠ETL / CEマーキング (EMC指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令) / CB認証 / REACH / エナジースター / RCM / KC	
外寸寸法 (W×D×H)	1,965mm × 700mm × 1,392mm	
本体重量	126kg	

インク仕様・インク配列

DTP 専用水性顔料インク PHT50 仕様	
インク名	PHT50
インク色	5色 (C, M, Y, K, W)
包装形態	アルミパック
容量	600ml (C, M, Y, K), 500ml (W)
認証	Eco Passport

インクカラーセット C M Y K W W

ご注意事項: Mimakiが提供する製品は、プリンタ、インク及びRIPソフトです。システム構成に必要なフィルム、ホットメルトパウダー、後加工機、熱プレス転写機についてはお客様による十分な事前評価の上、ご検討ください。

▲ 価格につきましては、弊社WEBページをご参照頂くか最寄りの営業所にお問い合わせください。

重要 TxF150-75には無償保証期間はありません。必ず保守契約にご加入ください。

●カタログ上の画面及びプリントサンプルは、一部ハモミ合成です。●本カタログに記載の仕様及びデザインは技術改善等により予告なく変更する場合があります。●本カタログに記載されている会社名、商品名は各社の商標または、登録商標です。●製品購入にあたって、設置、操作指導などを依頼される場合には、商品価格以外に別途費用が発生します。●本製品(ソフトウェア含む)に関するお問い合わせ及びサポート、記載内容については、国内限定とさせていただきます。●本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様であり、当社では海外での保守及び技術サポートは行っておりません。●インクジェットプリンタは非常に高精細なドットサイズでプリントを行っておりますので、プリントヘッド交換後は色が微妙に変化する場合があります。また、複製を繰り返す場合は、画像に白点や黒点が生じる場合がありますのでご注意ください。●最新画像、最低バスを使用する場合、まれにデータによって画質に影響を与える場合がございます。●自治体の条例によりマシンを設置する際に申請が必要となる場合がありますのでご注意ください。●本カタログに記載の仕様及びデザインは2023年4月現在のもので、

Mimaki 株式会社 ミマキエンジニアリング **0120-106-114** 受付時間9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始休業日除く)

japan.mimaki.com 本社 / 〒389-0512 長野県東御市遊野乙2182-3

東京支社	〒141-0001 品川区北品川 5-9-41 TKB 御殿山ビル	Tel.03-5420-8680
JP デモセンター	〒141-0001 品川区北品川 5-5-25 Sumビル 2-3F	Tel.03-5420-8680
大阪支店	〒564-0062 吹田市垂水町 3-36-15	Tel.06-6388-8258
札幌営業所	〒060-0031 札幌市中央区北 1 条東 2-5-2 札幌泉第 2 ビル 1F	Tel.011-200-5500
仙台営業所	〒984-0825 仙台市若林区古城 3-10-7	Tel.022-352-5333
北関東営業所	〒321-0933 宇都宮市薬師町 1784-5	Tel.028-346-2802
さいたま営業所	〒330-0802 さいたま市大宮区宮町 3-1-2 明治安田生命大宮ビル 1F	Tel.048-615-0110
横浜営業所	〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-1-9 アリーナタワー 1F	Tel.045-478-0211
西東京営業所	〒192-0906 八王子市北野町 593-6	Tel.042-649-3877
長野営業所	〒389-0512 東御市遊野乙 1628-1	Tel.0268-64-2377
金沢営業所	〒920-0027 金沢市駅西新町 2-12-6	Tel.076-222-5380
名古屋営業所	〒468-0052 名古屋市天白区井口 1-309	Tel.052-807-7501
京都営業所	〒601-8122 京都市南区上鳥羽北塔ノ本町 12-2 長谷川ビル 1F	Tel.075-693-8960
神戸営業所	〒651-0083 神戸市中央区浜辺通 2-1-30 三宮国際ビル 1F	Tel.078-291-5598
広島営業所	〒731-0101 広島市安佐南区八木 1-7-25	Tel.082-873-8500
四国営業所	〒761-8054 高松市東八世町 8-6	Tel.087-814-9901
福岡営業所	〒812-0041 福岡市博多区吉塚 5-11-15	Tel.092-612-1355

For
TEXTILES &
APPAREL

熱転写用インクジェットプリンタ

TxF150-75

Mimaki



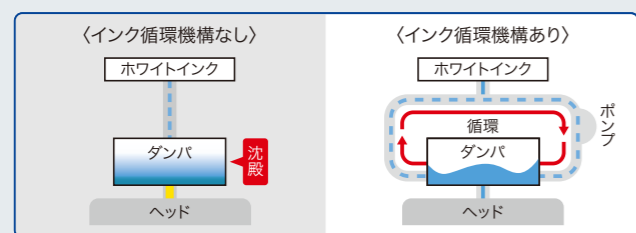
Mimakiの技術を詰め込んだ 安心・安定のDTFプリンタ。 (Direct to Film)

ミマキ
だから

長時間の運転でも安心のMimakiの技術を詰め込んだDTFプリンタTxF150-75。安定稼働をサポートする機能を搭載。作業者の熟練度に左右されず、誰でも手軽にクオリティの高い仕事ができます。お客様の仕事を継続的にサポートします。

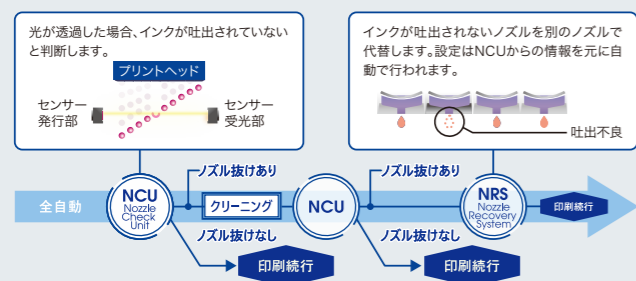


安定稼働を実現する数々のMimakiの技術



MCT Version2 (Mimaki Circulation Technology Version2)
タンパ※内のインクを含めたインク経路全体を循環させることでホワイトインクの吐出が安定し、頻繁なノズルクリーニングによる無駄なインク廃棄を減少します。

※ヘッド上部のフィルタ



NCU (Nozzle Check Unit)
センサーがノズル抜けを検出、自動クリーニングでノズル抜けを解消することで、成果物の無駄を減少します。

NRS (Nozzle Recovery System)
クリーニングをしてもノズル抜けが解消されない場合でも、サービスの修理を待つことなく、生産性を維持したままプリントを継続できます。

※ノズル位置によっては、リカバリーできない場合もあります。

安心を約束するMimakiオリジナル熱転写顔料インク PHT50

脱気済みアルミバックインク方式を採用。インクへの気体混入を抑え、白インクを含むすべてのインクのノズル詰まりを低減し、安定したインク吐出を実現しています。インクボトル方式と比べ、プラスチック使用量を削減できるため、環境負荷の低減にもつながります。



Mimaki初の熱転写顔料インク「PHT50」は、スイスに本部を置くエコテックス国際共同体が定める『ECO PASSPORT(エコパスポート)』認証を取得済みです。「エコパスポート」は、繊維製品の安全性に関する国際規格であり、インクの安全性が第三者機関によって証明されています。PHT50は環境負荷を低減し、安心・安全に配慮したインクです。

安心のMimakiブランド

プリンタからインク、RIPソフトウェアまで開発するMimakiならではのトータルサポートが可能です。



DTF
だから

DTF(Direct to Film)方式だから、生地選ばず※、版なし、前処理なしで生産効率アップ。時代はここまで進んでいる。

DTF方式により、混紡やポリエステルなどの幅広い生地に、また濃色のTシャツ印刷にと、活躍の場が一気に広がります。さらに、ラバー転写のカストリの作業も不要のため、生産効率が大幅に上がります。DTF方式プリンタの採用により、今までの課題であった、様々な現場の悩みを一挙に解決します。

※ご使用のフィルム・パウダーにより対応できる生地が異なります。必ず事前評価をしてください。



シルクスクリーン、熱転写ラバーシート、DTGとDTF方式の比較

シルクスクリーン方式



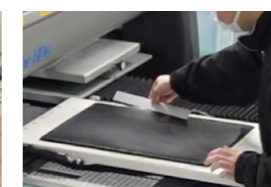
版が必要
フルカラー印刷が困難

熱転写ラバーシート方式



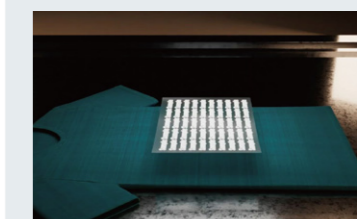
カストリ作業に人手と時間が掛かる

DTG(Direct To Garment)方式



ポリエステル素材やホワイトインク使用時に面倒な生地の前処理が必要

DTF方式



版が不要
カス取り作業が不要
前処理が不要でさまざまな生地の使用可

用途例 DTFプリントシステム1台で多様な生地の加飾が可能

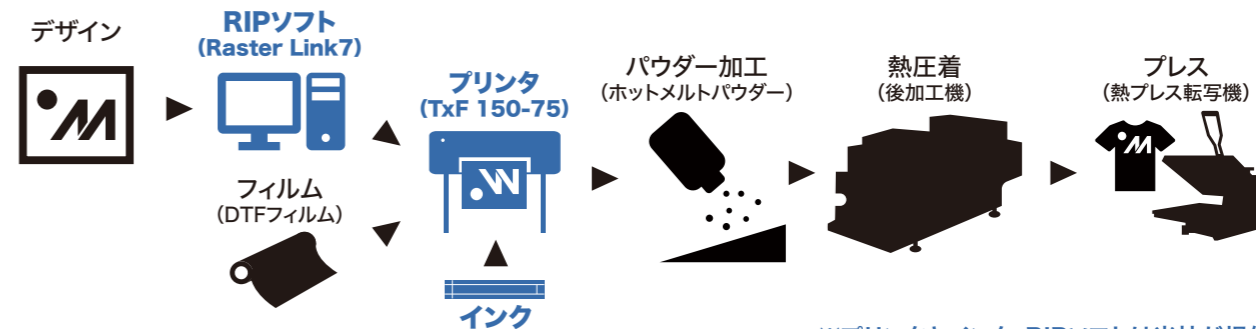


Tシャツ(綿) スポーツウェア(ポリエステル) トートバッグ(綿) ウインドブレーカー(ナイロン) ナップサック(ポリエステル)

DTFとは

DTFフィルムにプリンタで直接印刷し、接着パウダーをふりかけ、熱を加えて乾燥させたインク層を作るプリント方式。作成したインク層を熱プレスしてTシャツ等の生地へ圧着します。

※DTFプリントに向けて当社が提供する製品はプリンタとインク、RIPソフトで、インク層の作成に用いるフィルム、ホットメルトパウダー、パウダー塗布装置および後加工機、熱プレス転写機については販売代理店にお問い合わせください。



※プリンタとインク、RIPソフトは当社が提供